



グリーン物流優良事業者表彰において 最高位である「国土交通大臣表彰」を共同受賞

～情報可視化で効率化、持続可能な物流をめざして～

株式会社PALTAC(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長 吉田拓也 以下、PALTAC)は、株式会社サッポロドラッグストアー(本社:北海道札幌市、代表取締役社長CEO 富山浩樹 以下、サッポロドラッグストアー)及び佐川急便株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役社長 笹森公彰 以下、佐川急便)と共に、グリーン物流パートナーシップ会議が主催する「令和7年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」において最高位となる「国土交通大臣表彰」を共同受賞し、12月23日(火)に行われた「令和7年度グリーン物流パートナーシップ会議 物流パートナーシップ優良事業者表彰」において表彰されました。



表彰式の様子

(左から) サッポロドラッグストアー 代表取締役副社長COO 高田裕様、国土交通大臣 金子恭之様、
佐川急便 取締役 本田恵一様、PALTAC 理事 事業開発本部副本部長 佐塚大介

今回の受賞は、北海道内における小売業者のサッポロドラッグストアーを起点に、卸売業者のPALTAC、物流事業者の佐川急便が連携し、配送デポ(佐川急便の拠点等)を活用することで、北海道特有の長距離運行を改善し、店舗納品の効率化を実現したことが評価されたものです。これにより、従来は複数事業者が行っていた配送を統合し、共同配送の仕組みを確立しました。

さらに、物流DXの導入により運行状況を可視化し、配送計画の精度を高め、効率的な運行を実現しました。これらの取り組みにより、積載率の向上、車両台数の削減、運行距離の短縮を達成し、結果としてCO2排出量の大幅な削減につながりました。

道内192店舗のうち約80%(160店舗)は、PALTACの拠点(RDC北海道)から直送していましたが、佐川急便の営業所等を遠隔地デポとして活用することでトラックの走行距離を短縮しました。(詳細は次頁の発表資料をご参照ください)

PALTACは、長期ビジョンに掲げた「つなぐ力で人と社会のミライを創る」をスローガンに、流通のイノベーションに挑戦しています。今後も業界を越えた協働取り組みやDX推進を通じて、持続可能で効率的な物流ネットワークを構築し、「人々の豊かで快適な生活の実現」に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせは下記までお願ひいたします。

事業開発本部・佐塚(TEL 06-4793-1055)

経営企画本部・嶋田(TEL 06-4793-1090)

事業者

- ・佐川急便株式会社
- ・株式会社サッポロドラッグストア
- ・株式会社PALTAC

事業概要

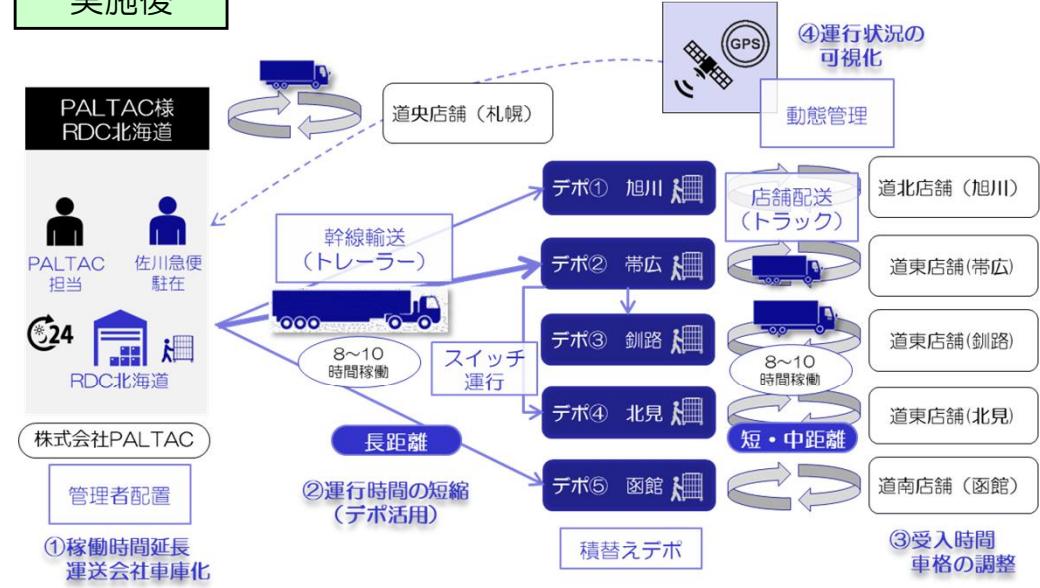
- ・佐川急便の宅配拠点をデポ活用した遠隔地店舗配送における効率の改善
- ・PAL TAC拠点の稼働時間変更、車庫活用と動態管理端末を使用した運行見える化による適正な労務管理
- ・店舗配送の効率改善に向けたサッポロドラッグストア店舗の受入時間・車格の調整

実施前



- ① 抱点稼働時間の制約や納品店舗の組合せにより、ドライバー業務について時間のムダ・業務負荷のムラが発生
- ② 遠方の店舗でも殆どが中継無く配送しており長距離・長時間運行運転時間が長く配送出来る店舗が少ないので、低積載でも運行せざる得ない
- ③ 改正物効法への対応が必要な中、委託関係やドライバーの運行実態把握が困難な状態

実施後



- ① センター稼働時間の変更と運送会社の車庫にすることで無駄な運行時間を最小化
- ② 佐川急便営業所等をテポ拠点として活用。テポでの積替え、幹線とは別車で短・中距離配送し車両当たりの運行時間・拘束時間を短縮
- ③ 店舗納品時間の調整、車格の大型化を行い店舗配送ルートを最適化
- ④ 動態管理により、車両角のハリ・ハタの是正とハラを平進化

特徵

- ◆デポ拠点からの配送により車両の積載、ドライバーの運転距離・拘束時間を改善
- ◆発地センターの稼働時間変更と車庫化により、制約条件を無くして運行業務に携わる時間を最大化
- ◆納品する店舗側でも荷受け時間の緩和や納品車両の車格条件を緩和調整
- ◆佐川手配の車両に動態管理端末を設置し、ムリ・ムダな運行を是正、車両毎の業務量のムラを平準化

效果

- ◆ CO₂削減量：404.5t-CO₂／年 (18.9%) 削減
- ◆ トラック走行距離：643.4千km (25.7%) 短縮
- ◆ トラック走行時間：12.2千時間 (22.5%) 短縮